



(W. A. モーツァルト：フルート四重奏曲 K. 298より第2楽章)

1. 譜例中の①～⑳の音から指示された、二音間の音程を答えなさい。
  - 1) ①と②との音程      2) ③と④との音程      3) ⑤と⑥との音程
  - 4) ⑦と⑧との音程      5) ⑨と⑩との音程      6) ⑪と⑫との音程
  - 7) ⑬と⑭との音程      8) ⑮と⑯との音程      9) ⑰と⑱との音程
  - 10) ⑲と⑳との音程
  
2. 次の音階の上行形と下行形を書きなさい。ただし、必ず調号を使って書くこと。
  - 1) 譜例と同じ調号を持つ長調の音階
  - 2) 譜例中の②を主音とする和声的短音階
  - 3) 譜例中の⑩を主音とする和声的短音階
  - 4) 譜例中の⑫のエンハーモニック（異名同音）を主音とする旋律的短音階
  - 5) 譜例中の⑯を主音とする旋律的短音階
  
3. 譜例の3段目のFluteのパートを、指示されたとおりに移調しなさい。ただし調号は使わず、臨時記号のみを用いて書くこと。
  - 1) 高音部譜表を使って、長3度下に
  - 2) 低音部譜表を使って、1オクターブと完全5度下に

Ⅱ. 次の楽語の意味を下の語群から選び、その記号（イ～ワ）を書きなさい。

1. sostenuto      2. andantino      3. poco a poco      4. subito      5. cantabile  
6. tempo giusto      7. morendo      8. agitato      9. allargando      10. pastorale

- イ. アンダンテよりやや速く      ロ. アンダンテよりやや遅く      ハ. 牧歌風に  
ニ. だんだん遅く消えるように      ホ. 直ちに      ヘ. 正確な速さで      ト. もとの速さで  
チ. 少しずつ      リ. 歌うように      ヌ. 音を強くしながらだんだん遅く  
ル. 音を充分にたもって      フ. 絶えず      ワ. せき込んで

Ⅲ. 試験開始の40分後に始まる音楽M1～M5を聴き、拍子、長調・短調、主な楽器、形式などを、解答表の空欄に記入しなさい。時代については、1) バロック、2) 古典派、3) ロマン派の中からいずれかを選び、その語句を書きなさい。